



特別支援教育の視点からの学級経営の充実を！

各学校には、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に加えて、「学級が落ち着かない」「学級がうまく機能しない」といった悩みを抱えている先生方もいらっしゃるのではないかと思います。

今回は、特別支援教育の視点を踏まえた、児童生徒とのかかわりについてお話しします。

ポジティブな言葉かけで学級を変える！！



子供を目の前にすると、どうしても「できていないところ」に目がいってしまう傾向があります。そのような時には、今の時点で「できているところ」に注目するように意識するだけでも、子どものよいところに気付くことができます。

集団でも同じことが言えます。「できていない子ども」に注目するよりも「できている子ども」のがんばりをまず認めて褒め、その行動を見ている他の子供たちの行動を修正するという方法があります。そのポジティブな言葉かけをいくつか紹介します。

ポジティブな言葉かけの例

- できているところを具体的な言葉に出して褒める。
- うなずきながら感嘆詞(おお！、なるほど！、やったね！など)を使って称賛する。
- グッドサインやOKサインを使って称賛する。
- 課題提出をした際に特別なシールを貼って称賛する。
- 日記にポジティブなコメントを書く。



これらのポジティブな言葉かけは、子どもたち同士が認め合い、互いを高め合える学級づくりの基盤の一つです。是非、各学校・各学級でも取り組んでください。

年度末に向けての留意事項の確認を！

2月も後半を迎えました。年度末に向けての留意点を整理し、校内での確認をお願いします。例えば、次の2点などにも留意してください。

【各種会計の処理について】

学校で取り扱っている各種の会計(学級費、給食費、PTA会費等)の事務処理は適切に進んでいるでしょうか。

※ 通帳等の管理もあわせて確認をお願いします。

【不登校や不登校傾向にある児童生徒や保護者との連携について】

新年度のスタートが、不登校傾向にある児童生徒を学校に復帰させることのできるチャンスのひとつです。年度末にかけ、児童生徒や保護者と話し合いを行う時間の計画をお願いします。

問合せ先：中部教育事務所
(担当：河野)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。